

令和6年1月22日
水管理・国土保全局防災課
大臣官房参事官(運輸安全防災)
道路局環境安全・防災課
物流・自動車局安全政策課
気象庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

- 1月23日から25日頃にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となるでしょう。東日本から西日本の日本海側を中心に平地・山地共に警報級の大雪となり、特に23日夜から24日は北陸地方や近畿北部、山陰等で降雪が強まるおそれがあります。また、普段雪の少ない東日本から西日本の太平洋側の平地でも大雪となるおそれがあります。今後の防災気象情報に留意してください。
- 令和4年12月17日からの大雪の際にも車両の立ち往生が発生していますので、十分に警戒してください。大雪の場合は不要不急の外出を控えてください。
- やむを得ず自動車を運転する場合は、ドライバーの皆様には、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底、スコップや砂等の冬用装備の携行をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲で高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 過去の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、交通に甚大な影響が生じています。運送事業者は、大雪時等において、輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車に冬用タイヤが装着されていることの確認を行う等、安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。なお、雪道において悪質な立ち往生が発生した場合には、監査を行い事実関係を確認したうえで、講じた措置が不十分と判断された場合は、行政処分の対象となります。適切な運行管理を行うようお願いいたします。一方で荷主においても、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただくようお願いいたします。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、大雪の場合は、テレワークの活用などを含め不要不急の外出を控えてください。外出が必要な場合には、十分な時間の余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

【問い合わせ】 (全般)

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課災害対策室 企画専門官 赤沼 隼一
TEL (直通): 03-5253-8461 (内線 35762)

(公共交通機関に関すること)

大臣官房参事官(運輸安全防災)付 災害対策推進官 佐藤 貴士
TEL (直通): 03-5253-8309 (内線 25623)

(道路に関すること)

道路局 環境安全・防災課道路防災対策室 課長補佐 佐々木 靖
TEL (直通): 03-5253-8489 (内線 38282)

(自動車運送事業に関すること)

物流・自動車局 安全政策課 課長補佐(総括) 小柳 美枝子
TEL (直通): 03-5253-8566 (内線 41602)

(気象の見通しに関すること)

気象庁 大気海洋部 業務課 気象情報企画官 酒井 亮太
TEL (直通): 03-3434-9055 (内線 4107)

大雪に対する国土交通省緊急発表 令和6年1月22日

- 1月23日から25日頃にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となるでしょう。東日本から西日本の日本海側を中心に平地・山地共に警報級の大雪となり、特に23日夜から24日は北陸地方や近畿北部、山陰等で降雪が強まるおそれがあります。また、普段雪の少ない東日本から西日本の太平洋側の平地でも大雪となるおそれがあります。今後の防災気象情報に留意してください。
- 令和4年12月17日からの大雪の際にも車両の立ち往生が発生していますので、十分に警戒してください。大雪の場合は不要不急の外出を控えてください。
- やむを得ず自動車を運転する場合は、ドライバーの皆様には、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底、スコップや砂等の冬用装備の携行をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲で高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 過去の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、交通に甚大な影響が生じています。運送事業者は、大雪時等において、輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車に冬用タイヤが装着されていることの確認を行う等、安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。なお、雪道において悪質な立ち往生が発生した場合には、監査を行い事実関係を確認したうえで、講じた措置が不十分と判断された場合は、行政処分の対象となります。適切な運行管理を行うようお願いいたします。一方で荷主においても、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただくようお願いいたします。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、大雪の場合は、テレワークの活用などを含め不要不急の外出を控えてください。外出が必要な場合には、十分な時間の余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

【1. 今後の気象の見通し】

1月22日11時時点

※各地の気象台が発表する防災気象情報に留意ください。

最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。

(<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

<大雪に警戒が必要な時間帯>

日	時	22日		23日	24日	25日	26日
		12~18	18~6	6~24			
北海道地方	大雪						
東北地方	大雪						
関東甲信地方	大雪						
北陸地方	大雪						
東海地方	大雪						
近畿地方	大雪						
中国地方	大雪						
九州北部地方	大雪						
九州南部	大雪						

(■大雪の可能性がある、■大雪の可能性が高い)

<大雪の見通し(単位:センチ)>

地域	24日12時までの24時間降雪量	25日12時までの24時間降雪量
北海道地方	20~40	30~50
東北地方	60~80	60~80
関東甲信地方	40~60	30~50
北陸地方	70~100	70~90
石川県能登平地	20~40	20~40
石川県能登山地	30~50	30~50
東海地方	50~70	40~60
近畿地方	50~70	50~70
中国地方	50~70	40~60
九州北部地方	10~20	5~10
九州南部	10~20	1~5

予想される24時間降雪量(多い所)

【2. 過去の大雪における立ち往生事例】

令和4年12月17日からの大雪

<新潟県内における立ち往生車両の発生に起因する滞留・渋滞>

○令和4年12月17日からの強い冬型の気圧配置となり、福島県や山形県、新潟県を中心に大雪となりました。

○新潟県柏崎市の国道8号では、車両の立ち往生が断続的に発生し、12月19日15時40分から22.5kmが通行止めとなり、全面的な通行止めの解除までに約38時間を要しました。

○新潟県見附市から長岡市の国道8号・17号では、車両の立ち往生が断続的に発生し、12月20日3時から32.7kmが通行止めとなり、全面的な通行止めの解除までに約29時間を要しました。



新潟県柏崎市上崎新田
国道8号の車両滞留状況
<令和4年12月19日>



新潟県小千谷市ひ生
国道17号の車両滞留状況
<令和4年12月20日>

【3. 整備局など現場の対応状況】

○雪による立ち往生や路面凍結によるスリップ等の発生が懸念される場合には、躊躇ない通行止めを行います。

(参考) 令和4年12月17日からの大雪の立ち往生等の状況



車両の滞留
<国道8号>



車両の滞留
<国道8号>



支援物資の配布
<国道8号>



車両の滞留
<国道17号>